

アジア消防長協会(IFCAA:イフカ)

アジア各国の消防長が連携。生命、財産を火災等から保護する技術や手段の研究を促進させるとともに、各国の情報を交換し、アジア地域における消防の発展を目的として1960年に設立されました。会員は、アジア・オセア

ニア地域内の22ヵ国2地域が

札幌国際消防·

最新の消防・救助・救急資機

材、防災製品、消防防災システ

ムの開発などを幅広く紹介する

ことで消防防災技術の普及啓

加盟。

防災展

IFCAA2012 SAPPORO

平成24年6月20日(水)から札幌市において「第27回アジア消防長協会総会」や「第64回全国消防長会総会」などの国際・国内会議のほか、「国際消防・防災展」や「国際救助隊合同訓練」などのイベントを開催します。IFCAA2012 SAPPOROとは、札幌市で開催するこれら会議・イベントの総称です。消防に関する国際的な会議や消防・防災展、更には各国の救助隊による合同訓練などの大規模なイベントの開催は、北海道では初めてとなります。

開催テーマ

~連携が築くアジアの安全~

アジアでは近年、被災した地域の力だけでは対処しきれない大規模災害が相次いでおり、これに立ち向かうためには日頃から相互理解と相互協力が不可欠です。アジアの消防長が一堂に会するIFCAA総会は、各国・地域

が互いに見つめ、手を取り合い、「1+1」が3の力、4の力を生む連携の素晴らしさを再確認するものです。

国際消防救助隊 合同訓練

自然災害に対し、被災地に派遣 された国際消防救助隊が速や かに検索・救助活動が行えるよう

各国間の連携強化を図るものです。国際消防救助隊が大規模な地震により倒壊した建物や瓦礫の中に閉じ込められた人を検索し救助するまでの一連の行動を一般公開します。

発を図るものです。また、東日本 大震災を受け、国民の防災に 対する意識は非常に高まって

いることから、災害への備え、地域や官民一体となった防火・防災への取り 組みを更に推進するため、消火体験、はしご車の体験搭乗、地震体験、防 災グッズの展示などを行います。

Symbol

北海道とその周辺を生活圏としてきたアイヌ民族の文様をモチーフとし、消防・防災には欠かせない存在である水の「泡」を組み合わせ、デザインしました。消防・防災を呼びかける大規模なイベントであること、「災害は魔物がもたらすもの」というアイヌ民族古来の考え方

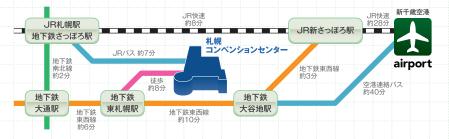


から、文様の角や先端に魔物が嫌うという「キラウ(つの)」を「モレウ (少し曲がる)」文様に配置しました。基調色は、綺麗な水源・豊な自 然が多く残る北海道をイメージし、また市民に広く愛されるイベントと なるよう、明るい色合いの緑・青としました。

会員国·地域(Membership)



Access



新千歳空港より、札幌駅経由で約60分

新千歳空港より札幌駅までJRを利用、JR札幌駅で下車し、地下鉄さっぽろ駅より地下鉄南北線に乗り換え、大通駅で下車し、東西線に乗り換え、東札幌駅で下車します。

新千歳空港より、新札幌駅経由で約60分

新千歳空港より新札幌駅までJRを利用、JR新札幌駅で下車し、地下鉄新札幌駅より東西線に乗り換え、東札幌駅で下車します。

お問い合わせ先